

構 造 特 記 仕 様 書		2 0 2 3 年 度 版
§ 1 一般事項		1) 設計図書の優先順位は下記による。 2) 本特記仕様書 3) 設計図 4) 標準図 5) 仕様書 6) 日本建築学会標準仕様書、JASS5 2018年、JASS6 2018年 7) 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。 8) 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。 9) 第三者機関による検査・試験費用は工事費に（ ）を含む（ ）含まない（ ） 10) 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。 11) 梁貫通位置、径、及び箇所数は（ ）意図（ ）構造（ ）設備図（ ）による。 12) その他
§ 2 構造計算ルート		1) 方向 2) 構造計算ルート 3) 鉄筋の継手（定着）については設計図若しくは標準図による。 4) 構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ 5) ※ 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定 6) 日本建築学会 JASS5 (2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・解説 7) 日本建築学会 RC規程2018 8) XY両方向共ルート3及び境界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5 (2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・解説及びRC規程2018とすることができる。
§ 3 仮設工事、土工事		1) 山留め、掘切り 2) 埋戻し土、盛土、残土処分 3) 埋戻し土 4) 盛土 5) 残土処分
§ 4 地業工事		1) 基礎及びスラブ下地業（単位mm） 2) 設計地耐力 3) 地盤改良 4) 既設コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭 5) 杭様 6) 工法 7) 打撃工法 8) 埋込み工法
§ 5 鉄筋工事		1) 材種 2) 材種 3) 材種 4) 材種 5) 材種 6) 材種 7) 材種 8) 材種 9) 材種 10) 材種 11) 材種 12) 材種 13) 材種 14) 材種 15) 材種 16) 材種 17) 材種 18) 材種 19) 材種 20) 材種 21) 材種 22) 材種 23) 材種 24) 材種 25) 材種 26) 材種 27) 材種 28) 材種 29) 材種 30) 材種 31) 材種 32) 材種 33) 材種 34) 材種 35) 材種 36) 材種 37) 材種 38) 材種 39) 材種 40) 材種 41) 材種 42) 材種 43) 材種 44) 材種 45) 材種 46) 材種 47) 材種 48) 材種 49) 材種 50) 材種 51) 材種 52) 材種 53) 材種 54) 材種 55) 材種 56) 材種 57) 材種 58) 材種 59) 材種 60) 材種 61) 材種 62) 材種 63) 材種 64) 材種 65) 材種 66) 材種 67) 材種 68) 材種 69) 材種 70) 材種 71) 材種 72) 材種 73) 材種 74) 材種 75) 材種 76) 材種 77) 材種 78) 材種 79) 材種 80) 材種 81) 材種 82) 材種 83) 材種 84) 材種 85) 材種 86) 材種 87) 材種 88) 材種 89) 材種 90) 材種 91) 材種 92) 材種 93) 材種 94) 材種 95) 材種 96) 材種 97) 材種 98) 材種 99) 材種 100) 材種 101) 材種 102) 材種 103) 材種 104) 材種 105) 材種 106) 材種 107) 材種 108) 材種 109) 材種 110) 材種 111) 材種 112) 材種 113) 材種 114) 材種 115) 材種 116) 材種 117) 材種 118) 材種 119) 材種 120) 材種 121) 材種 122) 材種 123) 材種 124) 材種 125) 材種 126) 材種 127) 材種 128) 材種 129) 材種 130) 材種 131) 材種 132) 材種 133) 材種 134) 材種 135) 材種 136) 材種 137) 材種 138) 材種 139) 材種 140) 材種 141) 材種 142) 材種 143) 材種 144) 材種 145) 材種 146) 材種 147) 材種 148) 材種 149) 材種 150) 材種 151) 材種 152) 材種 153) 材種 154) 材種 155) 材種 156) 材種 157) 材種 158) 材種 159) 材種 160) 材種 161) 材種 162) 材種 163) 材種 164) 材種 165) 材種 166) 材種 167) 材種 168) 材種 169) 材種 170) 材種 171) 材種 172) 材種 173) 材種 174) 材種 175) 材種 176) 材種 177) 材種 178) 材種 179) 材種 180) 材種 181) 材種 182) 材種 183) 材種 184) 材種 185) 材種 186) 材種 187) 材種 188) 材種 189) 材種 190) 材種 191) 材種 192) 材種 193) 材種 194) 材種 195) 材種 196) 材種 197) 材種 198) 材種 199) 材種 200) 材種 201) 材種 202) 材種 203) 材種 204) 材種 205) 材種 206) 材種 207) 材種 208) 材種 209) 材種 210) 材種 211) 材種 212) 材種 213) 材種 214) 材種 215) 材種 216) 材種 217) 材種 218) 材種 219) 材種 220) 材種 221) 材種 222) 材種 223) 材種 224) 材種 225) 材種 226) 材種 227) 材種 228) 材種 229) 材種 230) 材種 231) 材種 232) 材種 233) 材種 234) 材種 235) 材種 236) 材種 237) 材種 238) 材種 239) 材種 240) 材種 241) 材種 242) 材種 243) 材種 244) 材種 245) 材種 246) 材種 247) 材種 248) 材種 249) 材種 250) 材種 251) 材種 252) 材種 253) 材種 254) 材種 255) 材種 256) 材種 257) 材種 258) 材種 259) 材種 260) 材種 261) 材種 262) 材種 263) 材種 264) 材種 265) 材種 266) 材種 267) 材種 268) 材種 269) 材種 270) 材種 271) 材種 272) 材種 273) 材種 274) 材種 275) 材種 276) 材種 277) 材種 278) 材種 279) 材種 280) 材種 281) 材種 282) 材種 283) 材種 284) 材種 285) 材種 286) 材種 287) 材種 288) 材種 289) 材種 290) 材種 291) 材種 292) 材種 293) 材種 294) 材種 295) 材種 296) 材種 297) 材種 298) 材種 299) 材種 300) 材種 301) 材種 302) 材種 303) 材種 304) 材種 305) 材種 306) 材種 307) 材種 308) 材種 309) 材種 310) 材種 311) 材種 312) 材種 313) 材種 314) 材種 315) 材種 316) 材種 317) 材種 318) 材種 319) 材種 320) 材種 321) 材種 322) 材種 323) 材種 324) 材種 325) 材種 326) 材種 327) 材種 328) 材種 329) 材種 330) 材種 331) 材種 332) 材種 333) 材種 334) 材種 335) 材種 336) 材種 337) 材種 338) 材種 339) 材種 340) 材種 341) 材種 342) 材種 343) 材種 344) 材種 345) 材種 346) 材種 347) 材種 348) 材種 349) 材種 350) 材種 351) 材種 352) 材種 353) 材種 354) 材種 355) 材種 356) 材種 357) 材種 358) 材種 359) 材種 360) 材種 361) 材種 362) 材種 363) 材種 364) 材種 365) 材種 366) 材種 367) 材種 368) 材種 369) 材種 370) 材種 371) 材種 372) 材種 373) 材種 374) 材種 375) 材種 376) 材種 377) 材種 378

■設備関係

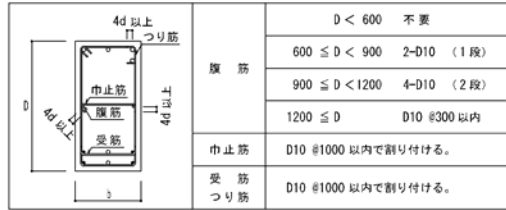
- 特記以外の梁貫通孔は設けない。設ける場合は構造設計者の承諾を得ること。
- 設備機器の架台および基礎については構造設計者と打合せのこと。
- 躯体埋設配管施工要領図以外の設備埋設等は、構造設計者の承諾を得ること。
- 令第 1 2 9 条の 2 の 3 の事項 ※ 㐁 項目を遵守すること。
- ・建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 㐁 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、
腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 - 㐁 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の
構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 - 㐁 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は
鉄製の支枠を設けたものを除き、9 0 c m以下とすること。
 - 㐁 煙突で屋内にある場合は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを 5 c m以上とした
鉄筋コンクリート造又は厚さが 2 5 c m以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造、
若しくはコンクリートブロック造とすること。
 - 㐁 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 㐁 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 - 㐁 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分にスリーブを設ける等
有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 㐁 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は
可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 㐁 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な
地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
 - 㐁 法第 2 0 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突、
その他これらに類するものにあっては、建設省告示第 1 3 8 9 号により、風圧並びに地震その他の震動
及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
 - 㐁 給湯設備※は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
満水時の質量が 15kg を超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、
平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

※「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

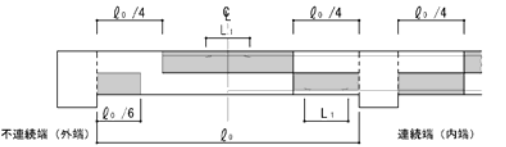
変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承 認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	令129条の2の3の事項						図面№ S-02 / 21		
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号											
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	No Scale					工事コード			
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明		Date	23/06/19					582820			
								申請図		一級建築士 第 1 3 7 4 0 6 号 岩嶋 幸拓					

申請図 一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓

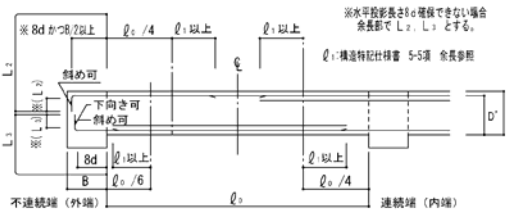
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） 2023年度版

4-4
補助筋4-5
小梁及び片持梁

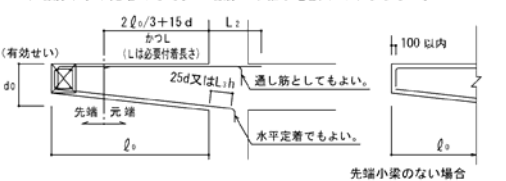
a) 小梁継手



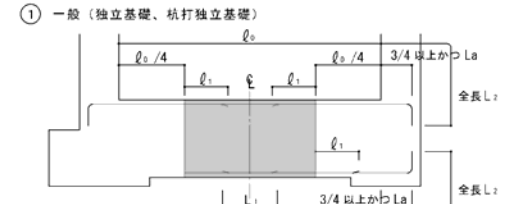
定着



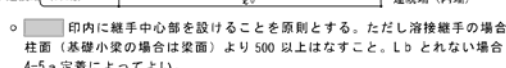
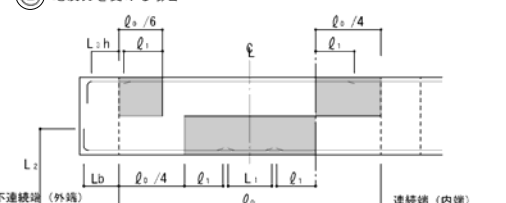
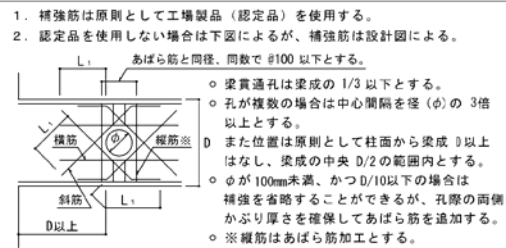
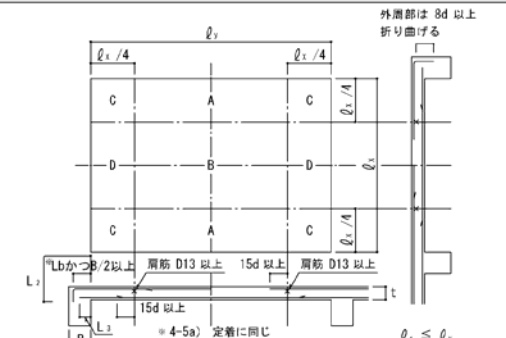
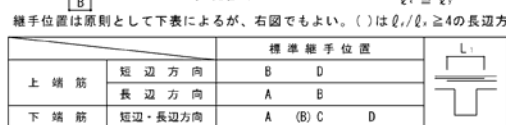
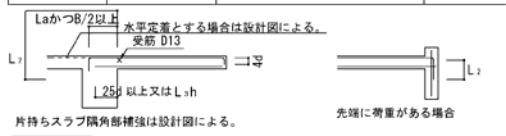
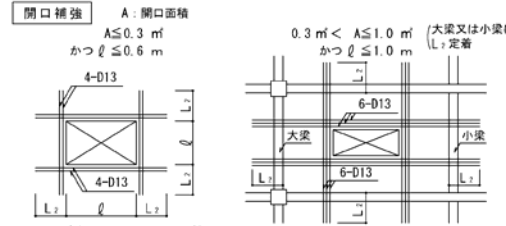
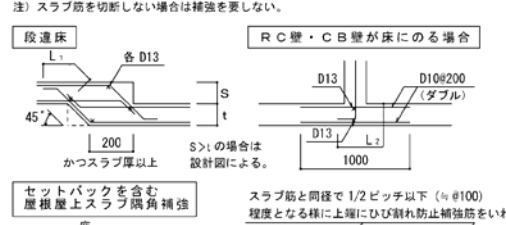
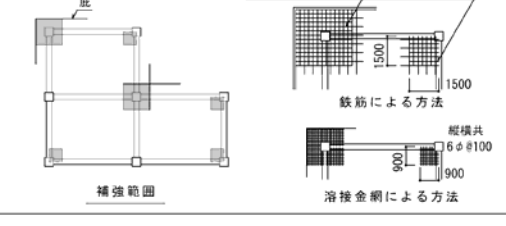
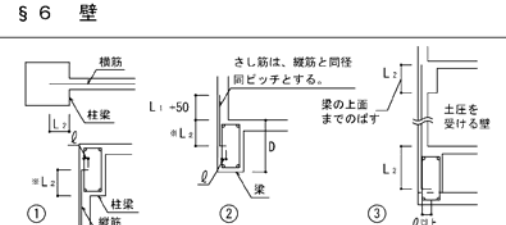
b) 片持梁定着継手

4-6
基礎梁及び基礎小梁

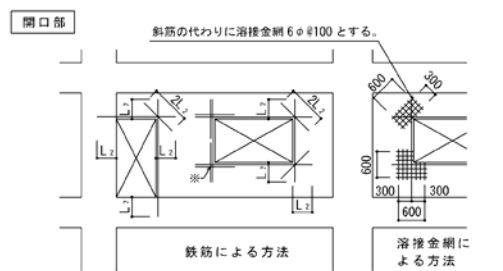
a) 基礎梁の継手及び定着



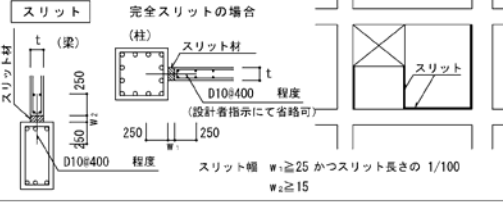
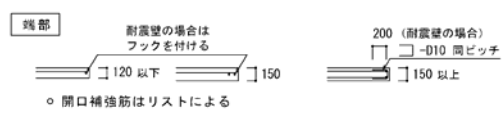
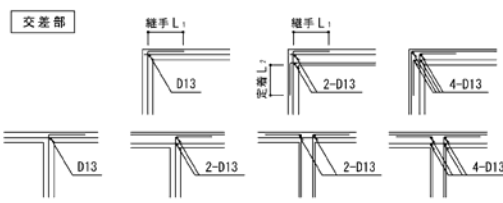
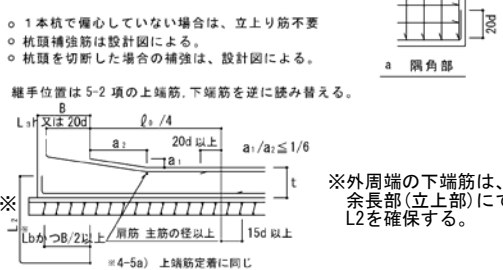
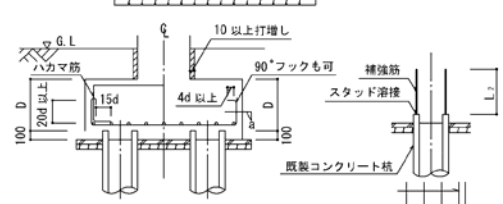
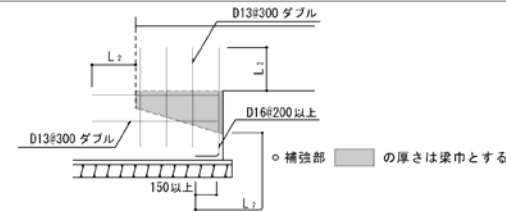
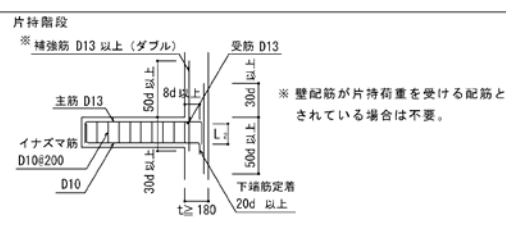
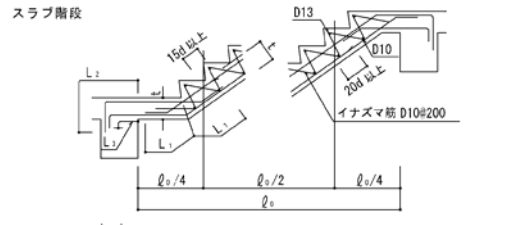
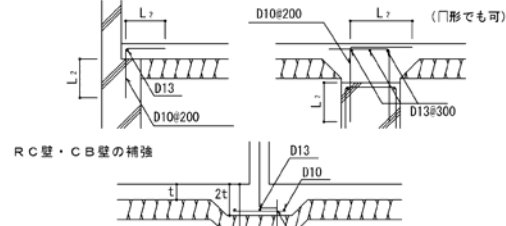
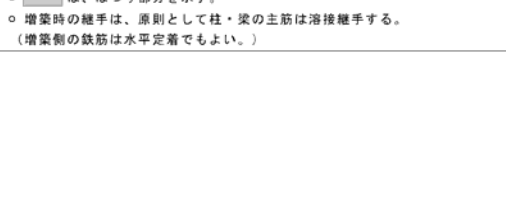
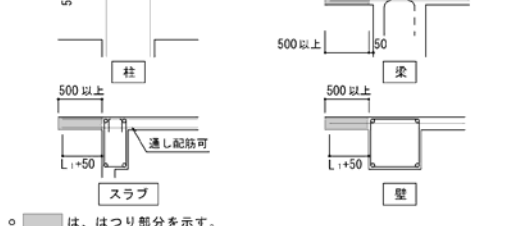
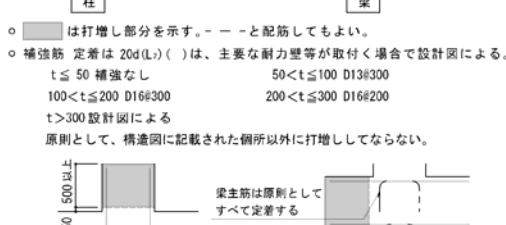
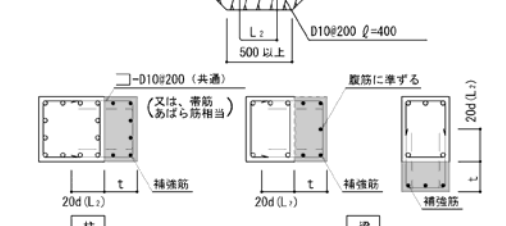
b) 基礎小梁の継手及び定着

4-7
梁の貫通補強5-1
鉄筋の折り曲げ及び定着5-2
継手5-3
片持ちスラブ5-4
補強筋6-1
定着及び継手6-2
壁配筋6-3
補強筋6-2
壁配筋6-3
補強筋

○ 定着長さは ℓ_1 及び継手長さは ℓ_2 とする。
※ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、 $\ell_1=\delta d$ かつ150以上45°~90°折り曲げ、定着長さは ℓ_1 かつ $D/2$ 以上とする。
(通し配筋の場合は不要)
○ 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
○ 継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。
○ ダブル配筋では止筋を縦横共 $D10\phi1000$ 以内を標準とする。



○ 斜筋を縦・横補強筋で置きかえる場合は設計図による。
○ 斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

7-1
独立基礎7-4
基礎と基礎梁8-1
階段8-2
土間コンクリート8-3
打増し補強8-4
増築予定(販売元) 一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会 <http://fasa-net.jp>

(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会 TEL (06) 6763-8205

FAX (06) 6763-8206

<http://www.kse-web.com/>

2023年2月1日作成 (不許複製)

変更日及び 内容記入欄	・ /	・ /	株式会社 伸構造事務所 一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号 構造設計一級建築士 第2769号 一級建築士 第134516号 中本 明	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	図面NO S-04 / 21
	・ /	・ /				Scale No Scale	工事コード
	・ /	・ /				Date 23/06/19	582820

申請図 一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓

高強度せん断補強筋
スーパーフープ785【KH785】 施工仕様書 SABTEC 評価 15-02R3



岸和田製鋼株式会社
株式会社岸鋼加工

1. 一般事項

(1) 適用範囲

- 本仕様書は、スーパーフープ785を使用する鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、プレストレストコンクリート造の柱、梁の施工に適用する。 本仕様書に記載されていない事項は、関連する法令及び基・規準類による
- スーパーフープ785は、(株)岸鋼加工が製造する 785 N/mm² 級の高強度せん断補強筋とする。
- スーパーフープ785には、岸和田製鋼(株)が製造する大臣認定（認定番号MSRB-0061）の高強度せん断補強筋用異形棒鋼KH785を用いる。
- スーパーフープ785の溶接継手は、2020年版建築物の構造関係技術基準解説書の解説に示された建設省告示第1463号(平成12年5月31日)に基づく「溶接継手性能判定基準」によるA級継手と同等の性能について、第三者機関の技術評価を取得したものである。

(2) コンクリート

- 種類： 普通コンクリート
- 設計基準強度(Fc)： 21 N/mm² 以上、かつ 60 N/mm² 以下

(3) 共通事項

本仕様書に記載なき事項は、JASS5 による。

2. スーパーフープ785の品質

(1) 化学成分

(単位：%)						
C	Si	Mn	P	S	Cu	Ceq
0.40以下	1.00以下	2.00以下	0.040以下	0.040以下	0.35以下	0.70以下
(注)炭素当量 Ceq = C + Mn/6 + Si/24 + Ni/40 + Cr/5 + Mo/4 + V/14						

(2) KH785の諸元

呼び名	公称直径 mm	公称周長 cm	公称断面積 cm ²	単位質量 kg/m
K10	9.53	3.0	0.7133	0.560
K13	12.7	4.0	1.267	0.995
K16	15.9	5.0	1.987	1.56

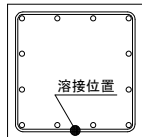
(3) KH785の機械的性質

試験片	降伏点 または耐力 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	曲げ性	
				曲げ角度	内側半径
鉄筋母材	785 以上	930 以上	8 以上	180°	1.5d
せん断補強筋溶接部			5 以上	—	

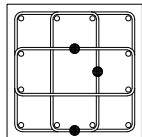
- (注) 1) 試験片はJIS Z 2201の2号試験片、伸び測定の際の標点間距離は 8×dとする。d：公称直径
2) 鉄筋母材の曲げ試験では、曲げられた外側に亀裂が生じてはならない。

3. スーパーフープ785の折り曲げ加工および溶接

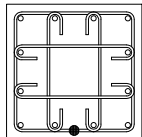
(1) 加工形状



(矩形：外周筋)

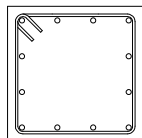


(矩形：中子筋併用)

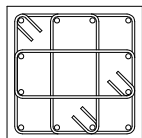


(円形：外周筋)

【 溶接閉鎖型：柱および柱梁接合部 】

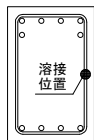


(矩形：外周筋)

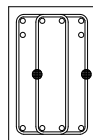


(矩形：中子筋併用)

【 135° フック閉鎖型：柱および柱梁接合部 】

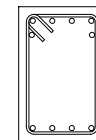
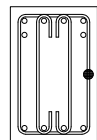


(矩形：外周筋)

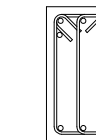


(矩形：中子筋併用)

【 溶接閉鎖型：梁 】

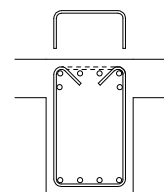


(矩形：外周筋)

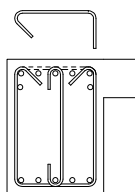


(矩形：中子筋併用)

【 135° フック付き閉鎖型：梁 】



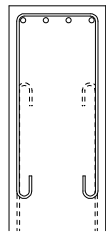
(両側スラブ付き)



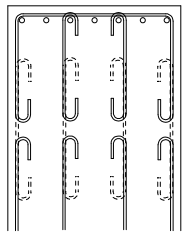
(片側スラブ付き)

【 キャップタイ型：梁 】

※キャップタイ形状は基本 135° フック加工とするが
スラブが取り付く方は 90° フック加工でもよい。



(1箇所)



(2箇所)

【 重ね継手：基礎梁 】

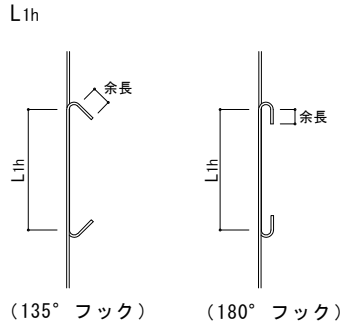
(2) 折り曲げ内法直径と余長

折り曲げ部	末端部			中間部
折り曲げ内法直径(D)	4d 以上			4d 以上
折り曲げ角度	180°	135°	90°	90° 以下
図				
	余長：6d以上	余長：8d以上	余長：12d以上	

4. 基礎梁横補強筋のフック付き重ね長さ

Fc (N/mm ²)	L1h
27 ～ 30	55d
33 ～ 39	50d
42以上	45d

Fc：コンクリートの設計基準強度
L1h：フック付き重ね長さ
d：基礎梁横補強筋の呼び名の値



(135° フック)

(180° フック)

5. その他の施工上の注意事項

(1) 現場施工

- スーパーフープ785は現場溶接を行ってはならない。
- 主筋等の溶接に際して、スーパーフープ785にアークストライク等の過度の加熱を行ってはならない。
- 曲げ加工したスーパーフープ785を曲げ戻したり、曲げ位置を変更するような再加工を行ってはならない。

(2) 保 管

- スーパーフープ785は直接地上に置いてはならない。
- 雨、潮風にさらされず、ごみ、泥、油等で汚さないようにする。

(3) 清 掃

- スーパーフープ785の組立てに先立ち、コンクリートとの付着を妨げるおそれのある浮き錆、油類、ごみ、泥等は除去する。

変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	高強度せん断補強筋仕様書						図面№ S-05 / 21	
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号										
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号										
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明										
							FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	No Scale					工事コード
								Date	23/06/19					582820
							申請図		一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓					

梁貫通孔補強材 ダイアレNS設計・施工標準仕様書

(一財)日本建築センター B C J 評定-RC0124-08

1. 一般事項

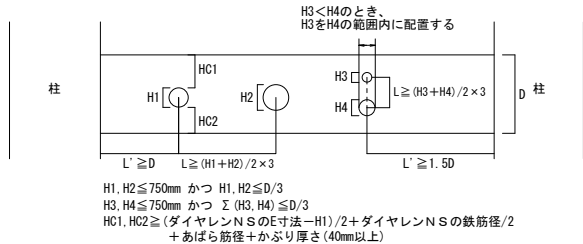
- (1) 本仕様書は、ダイアレNSの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
- (2) 本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、(一財)日本建築センター及び(一社)日本建築学会の関連する諸指針や諸標準、ダイアレNS技術マニュアルによる。

2. 使用材料の適用範囲

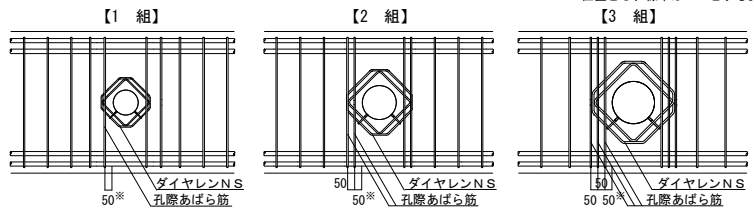
- (1) コンクリート
Fc=21~100N/mm²
- (2) 鉄筋
・主筋 : 基準強度295~490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え685N/mm²以下の大臣認定品
・あばら筋 : 基準強度295~490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm²以下の大臣認定品
・ダイアレNS : KSS785-K (MSRB-0004)、MK785 (MSRB-0067)

3. 貫通孔適用範囲

- (1) 開口の形状は円形または多角形とし、多角形の場合はその外接円を開口とみなす。
- (2) 開口径(H)は開口外径とし、750mm以下かつ梁せいの1/3以下とする。ただし、上下に複数の開口を設ける場合は、当該複数孔の開口径の合計は梁せいの1/3以下とする。
- (3) 隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離(L)は開口径の3倍以上とし、隣接する開口の径が異なる場合は、両開口径の平均値の3倍以上とする。また、上下に複数の開口を設ける場合には、最大径の範囲内にその他の開口を配置することとする。
- (4) ヘリあき(HC1, HC2)の最小寸法は下式による。
ヘリあき \geq (ダイアレNSのE寸法-開口径H)/2+ダイアレNSの鉄筋径/2
+あばら筋径+かぶり厚さ(40mm以上)
ただし、ダイアレNSをあばら筋の内側に施工することとする。
- (5) 水平方向の開口位置は、柱際から開口中心までの距離(L')を梁せいの1.5倍以上とする。
- (6) 上下に複数の開口を設ける場合の水平方向の開口位置は、L'を梁せいの1.5倍以上とする。



4. 開口部あばら筋の配筋要領

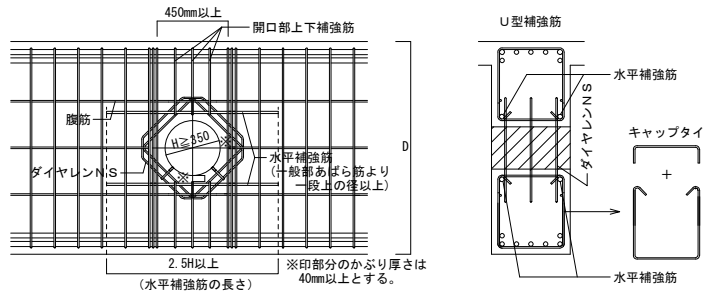


- (1) 開口部あばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。
- (2) 孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

開口径	一般部あばら筋比 (ρw)	
	1%未満	1%以上
H<150	1組	2組
150≤H<300	2組	3組
300≤H	3組	3組

5. 開口部上下補強要領 (350φ以上の場合)

- (1) 開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上(開口径で350mm以上)になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。
- (2) 開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。(丸鋼及びインデントは不可)
- (3) 梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側面ね長さが $\geq 25d$ (dは鉄筋の呼び径)以下の場合は、U型またはT型の形状で補強を行う。
- (4) 水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし(SD295A程度)、開口径の2.5倍以上の長さとする。



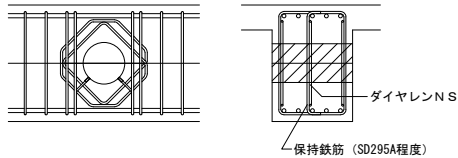
開口上下部分の補強要領 (U型補強筋で補強する場合の例)

6. 施工要領例

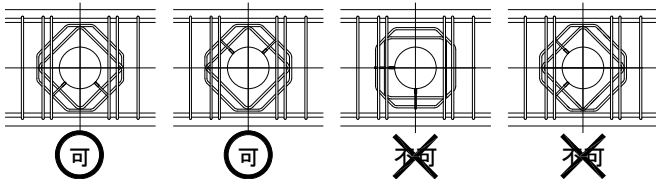
- (1) 型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。
- (2) 補強設計上必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。
- (3) ダイアレNSを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。
- (4) スリーブをダイアレNSのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。
- (5) 孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、東ね配筋にすることができる。(東ね配筋は、2組までは東ねることができるが、3組以上は東ねてはならない。)
- (6) 開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

7. 施工における注意事項

- (1) 補強設計によってダイアレNSが3枚以上になった場合で中子筋が無い場合は下図のように保持鉄筋等に結束する。



- (2) ダイアレNSはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」のように施工すること。



8. ダイアレNS標準製品寸法表

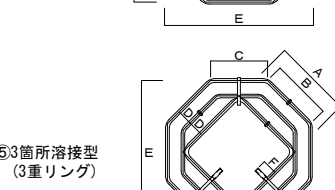
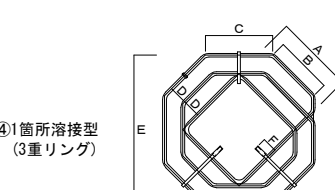
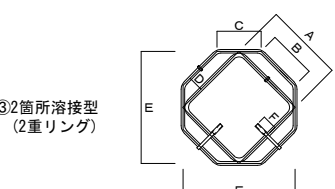
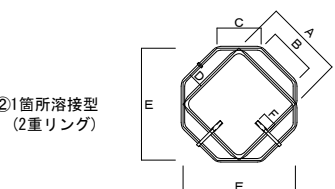
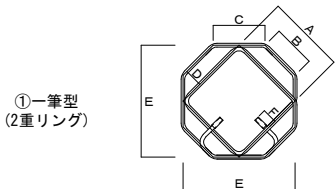
スリーブ径 (対応径)	型	サイズ	寸 法						形状	重量 (kgf/枚)	Ho
			A	B	C	D	E	F			
100φ (H≤115)	I	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	II	8	205	115	127	45	289	45	①	0.85	205
	III	10	205	95	155	55	289	45	②	1.14	206
	IV	13	210	80	183	65	296	48	②	2.01	211
	V	16	230	100	183	65	325	55	③	3.46	227
	V-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑤	6.14	292
125φ (H≤141)	I	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	II	8	230	140	127	45	325	45	①	0.94	223
	III	10	235	125	155	55	332	48	②	1.27	227
	IV	13	240	110	183	65	339	50	②	2.26	232
	V	16	240	110	183	65	339	50	③	3.57	234
	V-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑤	6.31	299
150φ (H≤166)	I	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	II	8	255	165	127	45	360	45	①	1.03	240
	III	10	260	150	155	55	367	47	②	1.38	245
	IV	13	260	130	183	65	367	47	②	2.41	246
	V	16	265	135	183	65	374	50	③	3.88	251
	V-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑤	6.78	316
175φ (H≤191)	I	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	II	8	280	190	127	45	395	45	①	1.12	258
	III	10	285	175	155	55	403	47	②	1.50	263
	IV	13	285	155	183	65	403	47	②	2.61	264
	V	16	290	160	183	65	410	50	③	4.19	269
	V-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑤	7.25	334
200φ (H≤216)	I	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	II	8	305	215	127	45	431	45	①	1.20	276
	III	10	310	200	155	55	438	47	②	1.61	280
	IV	13	310	180	183	65	438	47	②	2.81	282
	V	16	320	190	183	65	452	50	③	4.57	290
	V-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑤	7.82	355
250φ (H≤270)	I	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	II	8	360	270	127	45	509	45	①	1.40	315
	III	10	360	250	155	55	509	45	②	1.83	316
	IV	13	370	240	183	65	523	50	②	3.29	324
	V	16	370	210	226	80	523	50	②	5.31	326
	V-3R	16	370	276	292	80	683	50	④	9.11	406
300φ (H≤320)	I	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	II	8	410	320	127	45	579	45	①	1.57	350
	III	10	410	300	155	55	579	45	②	2.05	351
	IV	13	420	290	183	65	593	50	②	3.69	359
	V	16	420	260	226	80	593	50	②	5.93	361
	V-3R	16	420	326	292	80	753	50	④	10.04	441
350φ (H≤370)	I	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	II	8	460	370	127	45	650	45	①	1.75	385
	III	10	460	350	155	55	650	45	②	2.28	386
	IV	13	470	340	183	65	664	50	②	4.09	395
	V	16	470	310	226	80	664	50	②	6.55	396
	V-3R	16	470	376	292	80	824	50	④	10.98	476
400φ (H≤420)	I	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	II	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	III	13	520	390	183	65	735	50	②	4.48	430
	IV	16	530	370	226	80	749	55	②	7.31	439
	IV-3R	16	530	436	292	80	909	55	④	12.11	519
	I	8	560	470	127	45	791	45	①	2.10	456
450φ (H≤470)	II	10	560	450	155	55	791	45	②	2.73	457
	III	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	IV	16	580	420	226	80	820	55	②	7.94	474
	IV-3R	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
	II	10	610	500	155	55	862	45	②	2.95	492
	III	13	620	490	183	65	876	50	②	5.28	501
500φ (H≤520)	IV	16	630	470	226	80	890	55	②	8.56	509
	IV-3R	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
	II	10	660	550	155	55	933	45	②	3.17	528
	III	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	IV	16	680	520	226	80	961	55	②	9.18	545
	IV-3R	16	680	586	292	80	1121	55	④	14.92	625
600φ (H≤630)	II	10	720	610	155	55	1018	45	②	3.44	570
	III	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
	IV	16	750	590	226	80	1060	60	②	10.07	594
	IV-3R	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
	II	10	770	660	155	55	1088	45	②	3.67	605
	III	13	780	650	183	65	1103	50	②	6.55	614
650φ (H≤680)	IV	16	800	640	226	80	1131	60	②	10.69	630
	IV-3R	16	800	706	292	80	1291	60	④	17.17	710
	II	10	820	710	155	55	1159	45	②	3.89	641
	III	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
	IV	16	850	690	226	80	1202	60	②	11.32	665
	IV-3R	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
700φ (H≤730)	II	10	870	760	155	55	1230	45	②	4.11	676
	III	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	IV	16	900	740	226	80	1272	60	②	11.94	700
	IV-3R	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780
	II	10	920	780	155	55	1298	45	②	4.55	696
	III	13	930	770	183	65	1312	50	②	7.79	705

※対応径は、スリーブ面とダイアレNS内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径

※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合のコンクリート面から開口中心までの距離

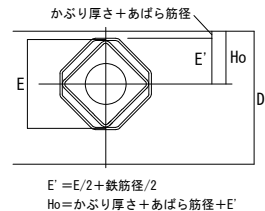
※寸法は、鉄筋の芯一芯間とする

【ダイアレNS 標準形状】



※ヘリあきの最小寸法

ダイアレNSを使用した場合のコンクリート面から開口中心までの距離 (Ho) を左表に示す。
(かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値)



変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称
----------------	-----	--	-----	-------------	-------------	-----

プレートナット工法標準図（SD490以下）

[illegible]

変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	プレートナット工法標準図						S-07 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号			FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	No Scale				
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	Date	23/06/19						582820	
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明	申請図			一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓					

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 (仮称)sawarabi 京都六角 地質調査

事業名または工事名

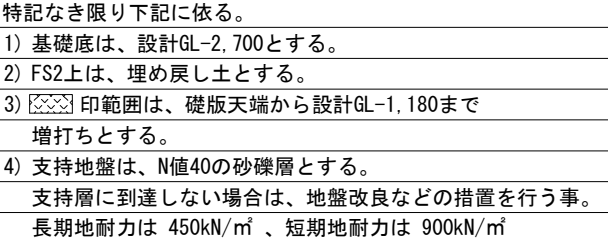
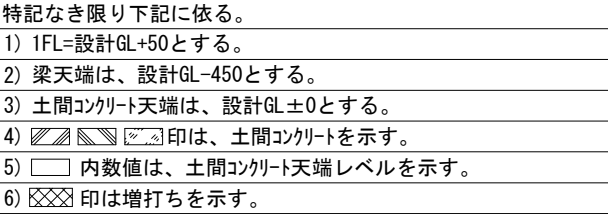
調査目的及び調査対象

ボーリング名	No. 1			調査位置		京都市中京区六角通堀川東入越後突抜町293番地						北緯		35° 00' 25"					
発注機関	株式会社秋村組					調査期間		令和05年02月22日～令和05年02月24日						東経		135° 45' 11"			
調査業者名	彦根磐泉株式会社			電話(0749-25-2345)		主任技師		角谷 隆幸		現場代理人		澤山 晃臣		コア鑑定者		ボーリング責任者		澤山 晃臣	
孔口標高	H= 0.40 m		<div><div><div>180°</div><div>90°</div><div>0°</div><div>270°</div></div><div><div>北</div><div>東</div><div>南</div><div>西</div></div><div>方位</div></div>		<div><div><div>北</div><div>東</div><div>南</div><div>西</div></div><div>地盤勾配</div></div>		<div><div><div>水平</div><div>0°</div></div><div>使用機種</div></div>		試錐機		ワイビーエム製 05DA2								
総削孔長	10.50 m								エンジン		ヤンマー製 NFAD8		ポンプ		カノ製 V5P				

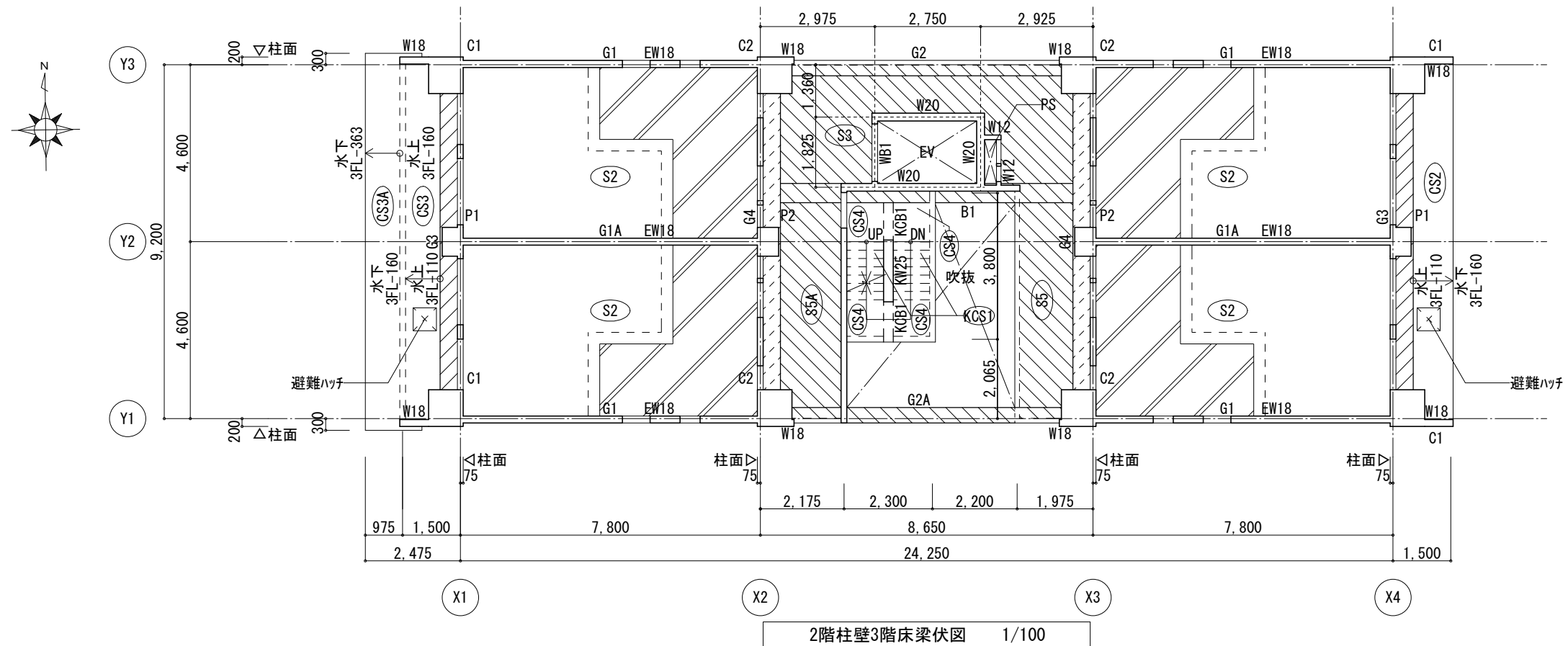
標	標	層	深	現場上質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験	位置試験	採取	室内	削			
尺	高	厚	度				調	度	度			値	度	名	内	孔			
(m)	(m)	(m)	(m)				調	度	度			(m)	度	度	試	月			
1					盛土		暗灰	rd3		粘土混じり砂礫を主体にレンガ片、コンクリート片、カワラ片などを混入する		設計GL							
2	-1.45	1.85	1.85		砂礫			rd4		φ2～50mmの垂角礫主体マトリックスは細中砂含水中位～小位		埋戻し土	15	1.15	3	5	7	15	
3	-2.60	1.15	3.00							2.5mまでの無水範囲では水位なし		基礎底	40	1.45	13	13	14	40	
4					玉石混じり砂礫		暗褐色			φ2～40mmの垂角礫を主体とする			78	3.15	18	29	13	60	
5										φ80～最大φ200mm程度の玉石を点状する	5.35			3.38		30	230		
6										マトリックスは細～粗砂				4.15	21	26	13	60	
7	-7.10	4.50	7.50					rd5		4.9mより漏水なられる				4.39	40	40	240		
8					シルト混じり砂礫		褐色			6.0mより漏水多い				5.15	18	17	16	51	
9										7.0mの試料、含水多いもの				5.45				300	
10	-10.10	3.00	10.50							φ2～40mmの垂角礫を上体とする				6.15	21	20	19	60	
11										マトリックスは細～中砂主体				6.44		90	290		
										シルト分を若干混入する				7.15	13	14	24	51	
										漏水所々で認められる				7.45				300	
														8.15	28	23	9	60	
														8.38		30	230		
														9.15	25	21	14	60	
														9.41		60	260		
														10.15				300	
														10.45	15	17	18	50	300





ボーリング柱状図

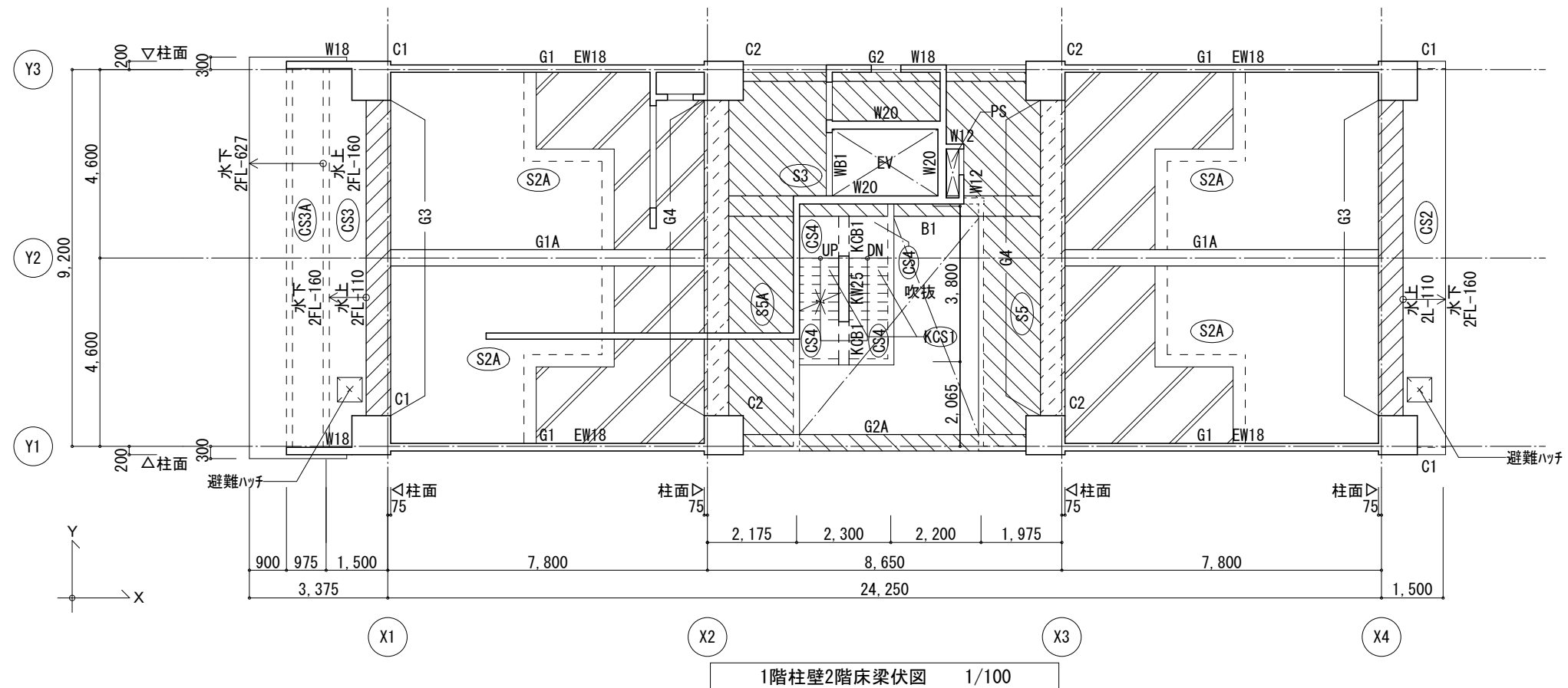
変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	ボーリング柱状図						図面NO S-08 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号			Scale	No Scale					工事コード
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Date	23/06/21					582820	
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明		申請図		一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓					







変更日及び 内容記入欄	．／	．／	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	伏 図 (1)					S-09 21
	．／	．／	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号								
	．／	．／	構造設計一級建築士 第2769号	FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	1/100 (A2) 1/141 (A3)					工事コード
	．／	．／	一級建築士 第134516号 中本 明		Date	23/06/21					582820
						申請図	一級建築士 第 1 3 7 4 0 6 号 岩嶋 幸拓				

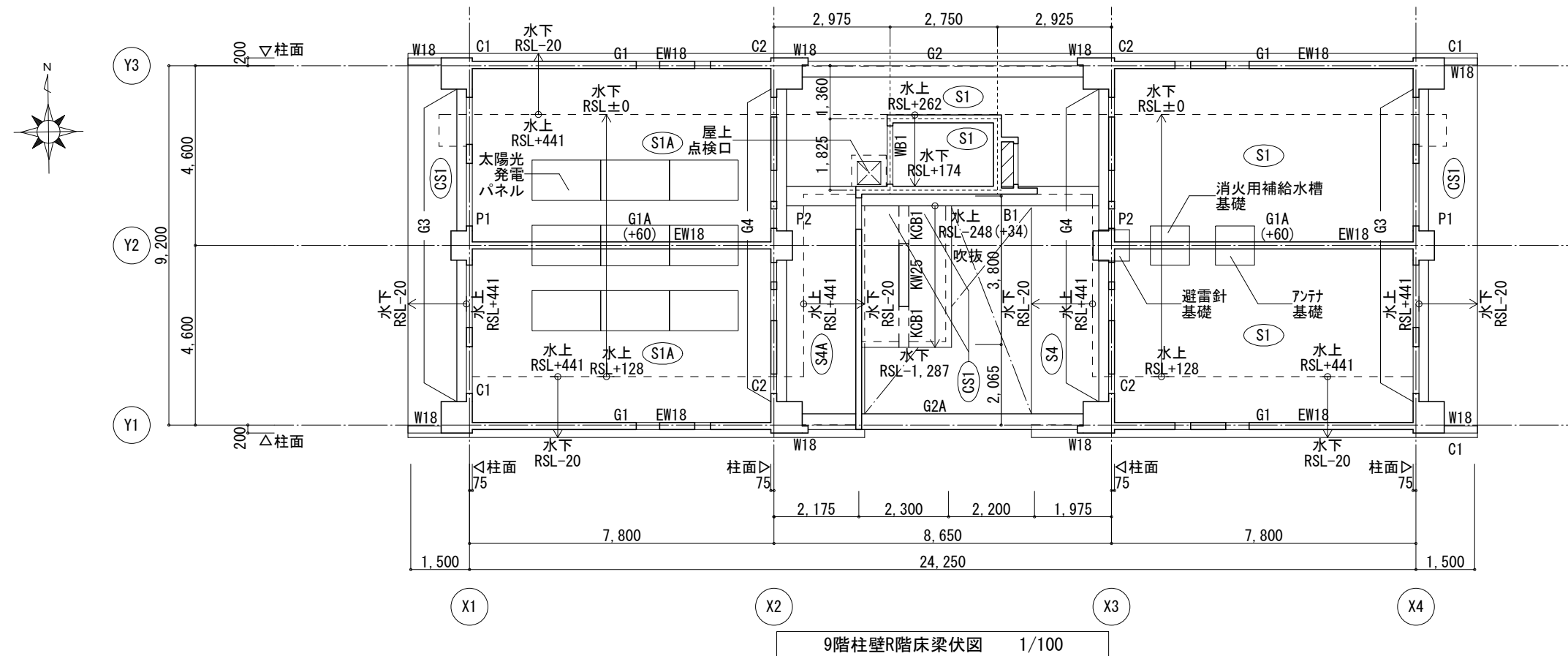





- 特記なき限り下記に依る。
- 1) 壁符号はW15とする。
 - 2) 梁・スラブ 天端は、FL-15とする。
 - 3)  印の梁・スラブ 天端は、FL-110とする。
 - 4)  印の梁・スラブ 天端は、FL-80とする。
 - 5)  印の梁・スラブ 天端は、FL-60とする。
 - 6)  印のスラブ 天端レベルは、FL-215とする。

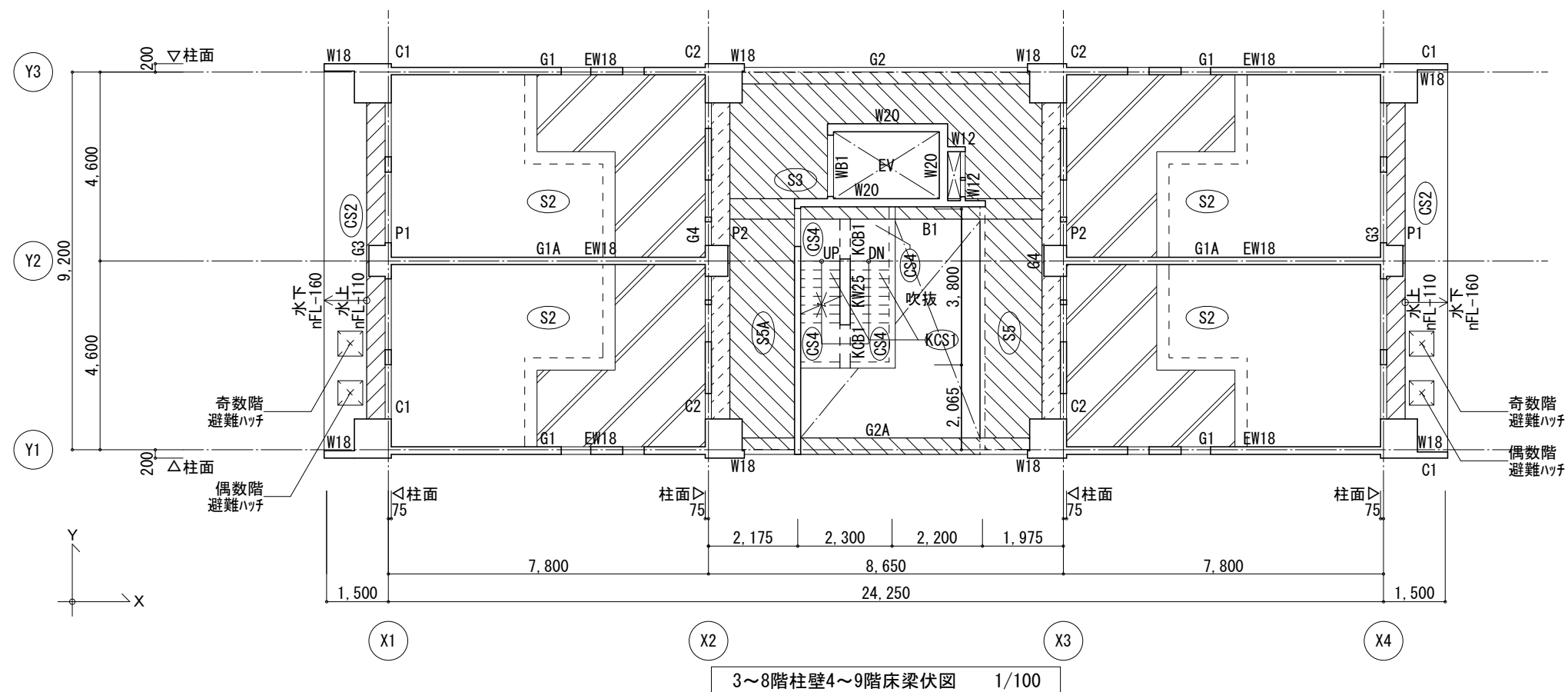






- 特記なき限り下記に依る。
- | | |
|----|---|
| 1) | 壁符号はW15とする。 |
| 2) | 梁天端は、FL-15とする。 |
| 3) | ｽﾗﾌﾞ天端は、FL-15とする。 |
| 4) |  印の梁・ｽﾗﾌﾞ天端は、FL-110とする。 |
| 5) |  印の梁・ｽﾗﾌﾞ天端は、FL-80とする。 |
| 6) |  印の梁・ｽﾗﾌﾞ天端は、FL-60とする。 |
| 7) |  印のｽﾗﾌﾞ天端ﾊﾞﾙは、FL-215とする。 |

変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	伏 図 (2)						図面№ S-10 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号			<div>FANTASY STUDIO</div> <div>Akimura & Partners</div>	Scale	1/100 (A2) 1/141 (A3)				
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	Date	23/06/21						582820	
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明				申請図					

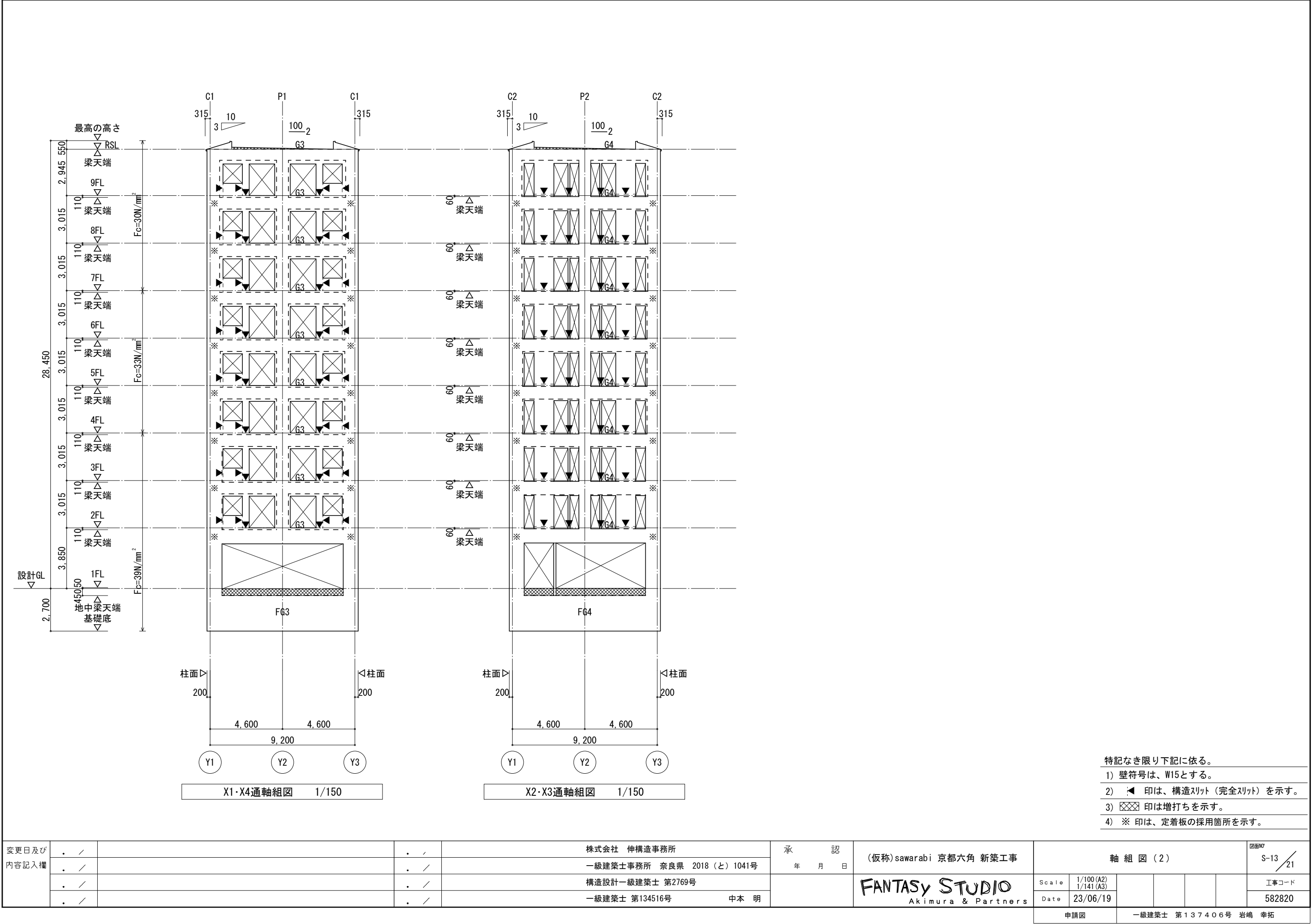


- 特記なき限り下記に依る。
- 1) 壁符号はW15とする。
 - 2) 梁天端は、 $RSL \pm 0$ とする。
 - 3)  印は、梁・スラブの上がり下がりを示す。
 - 4)  印のスラブ天端レベルは、 $RSL + 550$ とする。
 - 5)  は、水勾配を示す。
 - 6) スラブレベルは、水勾配に合わせることにする。



- 特記なき限り下記に依る。
- 1) 壁符号はW15とする。
 - 2) 梁・スラブ 天端は、FL-15とする。
 - 3)  印の梁・スラブ 天端は、FL-110とする。
 - 4)  印の梁・スラブ 天端は、FL-80とする。
 - 5)  印の梁・スラブ 天端は、FL-60とする。
 - 6)  印のスラブ 天端レベルは、FL-215とする。

変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承 認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	伏 図 (3)						図面NO S-11 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号									
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	1/100 (A2) 1/141 (A3)					工事コード	
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明		Date	23/06/21					582820	
							申請図	一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓					



特記なき限り下記に依る。

1) 壁符号は、W15とする。

2) ◀ 印は、構造スリット（完全スリット）を示す。

3) ◻◻◻ 印は増打ちを示す。

4) ※ 印は、定着板の採用箇所を示す。

変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	軸 組 図 (2)					図面NO S-13 / 21	
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号									
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	1/100 (A2) 1/141 (A3)						工事コード
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明		Date	23/06/19						582820
								申請図		一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓			

礎盤リスト

特記なき限り下記に依る。

1) 使用鉄筋 SD295 D10~D16	2) 巾止め筋は、D10@1,000とする。
-----------------------	------------------------

名 称	厚 さ	位置	短辺（主筋方向）			長辺（副筋方向）			備 考
			端部	中央部	周辺部	端部	中央部	周辺部	
FS1	800	上端筋	D13・D16@100	同 左	同 左	D13・D16@200	同 左	同 左	スチコンクリート⑦50
		下端筋	D13・D16@200	同 左	同 左	D13・D16@200	同 左	同 左	砕石⑦100
FS2	800	上端筋	D16@100	同 左	同 左	D16@200	同 左	同 左	スチコンクリート⑦50
		下端筋	D13・D16@200	同 左	同 左	D13・D16@200	同 左	同 左	砕石⑦100
FS3	600	上端筋	D16@200	同 左	同 左	D13・D16@200	同 左	同 左	スチコンクリート⑦50
		下端筋	D13・D16@200	同 左	同 左	D13・D16@200	同 左	同 左	砕石⑦100

地中梁リスト 1/50

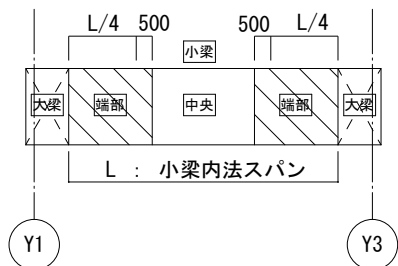
特記なき限り下記に依る。

1) 使用鉄筋 SD295 D10～D16 SD345 D19～D25	3) 腹筋(D16)は柱型、直交梁にL2(25d)以上定着する。
2) 2段受け筋, 巾止め筋は、D10@1,000とする。	

符 号	FG1	FG2	FG3	FG4		FB1		FB2		FB3
位 置	全断面	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面
設計GL 450 地中梁天端 断面 Fc=39 100				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 端部(柱面)まで延長する 柱型には、定着しない </div>						
B x D	500x2, 250	800x2, 250	800x2, 250	1, 200x2, 250		650x2, 250		650x2, 250		350x2, 250
上端筋	8-D29	10-D29	10-D32	20-D32	26-D32	6-D29	14-D29	6-D29	16-D29	4-D29
下端筋	8-D29	10-D29	10-D32	16-D32	16-D32	6-D29	6-D29	6-D29	6-D29	2-D29
スターラップ	□-D13@200	▤-D13 @100	▤-D13 @100	▤-D13 @100		▤-D13@100		▤-D13@100	▤-D13@200	□-D13@150
腹 筋	10-D16	10-D16	10-D16	10-D16		10-D16		10-D16		10-D16

FB2のスターラップ® 配置要領

※主筋の継手・定着については、配筋標準図を参照



変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	礎 盤 ・ 地 中 梁 リ ス ト						S-14 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号			FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	1/50 (A2) 1/71 (A3)				
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	Date	23/06/21						582820	
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明				申請図					

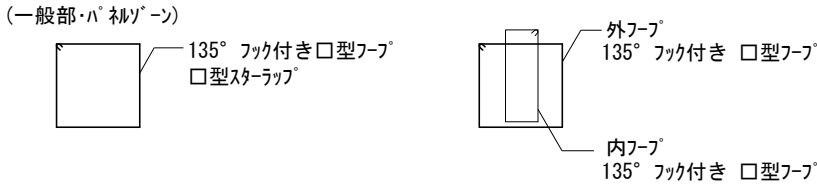
柱リスト1/50

特記なき限り下記による。
1) 使用鉄筋 SD295 D10～D16、SD345 D19～D25、SD390 D29以上
2) 仕口部フープは、□-D13@100とする。3) K印は、高強度せん断補強筋KH785を示す。

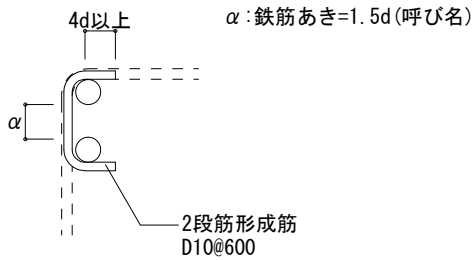
階	符号	C1	C2	P1	P2
9 8	断面 Fc=30				
	Dx x Dy	800x800	800x800	550x750	550x750
	主筋	12-D22+4-D16	12-D22+4-D16	10-D19+4-D16	10-D19+4-D16
	H00P	□-D13@100	□-D13@100	▣-D13@100	▣-D13@100
7	断面 Fc=30	同上	同上		
	Dx x Dy			550x750	550x750
	主筋			10-D22+4-D16	10-D22+4-D16
	H00P			▣-D13@100	▣-D13@100
6	断面 Fc=33	同上	同上		
	Dx x Dy			550x750	550x750
	主筋			10-D25+4-D16	10-D25+4-D16
	H00P			▣-D13@100	▣-D13@100
5	断面 Fc=33			同上	同上
	Dx x Dy	800x850	800x850		
	主筋	12-D25+4-D16	12-D25+4-D16		
	H00P	□-D13@100	□-D13@100		
4	断面 Fc=33	同上	同上		
	Dx x Dy			550x750	550x750
	主筋			10-D25+4-D16	10-D29+4-D16
	H00P			▣-D13@100	▣-D13@100
	仕口部H00P	□-D13@90	□-D13@90	梁通し	梁通し

階	符号	C1	C2	P1	P2
3	断面 Fc=39			同上	同上
	Dx x Dy	900x950	900x950		
	主筋	12-D25+4-D16	12-D29+4-D16		
	H00P	□-D13@100	□-D13@100		
	仕口部H00P	□-D13@90	□-D13@90	梁通し	梁通し
2	断面 Fc=39				
	Dx x Dy	900x950	900x950	550x750	550x750
	主筋	14-D25+4-D16	14-D29+4-D16	14-D29+4-D16	18-D29+4-D16
	H00P	□-D13@100	□-D13@100	▣-K13@100	▣-K13@100
	仕口部H00P	□-D13@90	□-D13@90	梁通し	梁通し
1	断面 Fc=39				
	Dx x Dy	950x950	950x950		
	主筋	14-D29+4-D16	16-D29+4-D16		
	H00P	▣-K13@100	▣-K13@100		
	仕口部H00P	□-D13@90	□-D13@90		

帯筋配筋要領図



寄筋 (2段配筋) 要領図



大梁リスト(1) 1/50




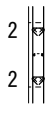



特記なき限り下記による。

1) 使用鉄筋 SD295 D10～D16、SD345 D19～D25

2) 2段受け筋, 巾止め筋は、D10@1,000とする。

3) K印は、高強度せん断補強筋KH785を示す。

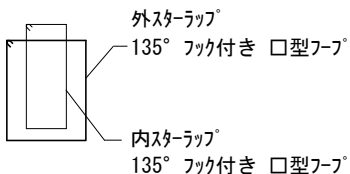
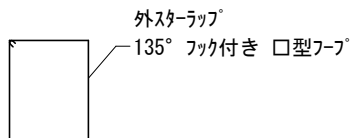
4) G3, G4の端部は定着板を採用する。(D29~D35)

階	符 号	G1	G1A	G2、G2A		G3	G4
6	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
	断 面 F _c =33			 腹筋D16は柱内に40d定着		 Y1・Y3端 定着板	 Y1・Y3端 定着板
	B × D	180x600	180x600	400x600		500x740	500x800
	上端筋	2-D13	2-D13	5-D25	3-D25	7-D32	7-D32
	下端筋	2-D13	2-D13	3-D25	3-D25	5-D32	5-D32
	スターラップ°	▽-D10 @200	▽-D10 @200	□-D13 @200		□-K13 @100	□-K13 @100
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10	2-D10
5	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
	断 面 F _c =33			 腹筋D16は柱内に40d定着		 Y1・Y3端 定着板	 Y1・Y3端 定着板
	B × D	180x600	180x600	400x600		500x740	600x800
	上端筋	2-D13	2-D13	5-D25	3-D25	7-D32	9-D32
	下端筋	2-D13	2-D13	3-D25	3-D25	6-D32	7-D32
	スターラップ°	▽-D10 @200	▽-D10 @200	□-D13 @200		□-K13 @100	□-K13 @100
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10	2-D10
4	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
	断 面 F _c =39			 腹筋D16は柱内に40d定着		 Y1・Y3端 定着板	 Y1・Y3端 定着板
	B × D	180x600	180x600	400x600		600x740	600x800
	上端筋	2-D13	2-D13	5-D25	3-D25	8-D35	9-D35
	下端筋	2-D13	2-D13	3-D25	3-D25	6-D35	7-D35
	スターラップ°	▽-D10 @200	▽-D10 @200	□-D13 @200		□-K13 @150	□-K13 @150
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10	2-D10

階	符 号	G1	G1A	G2、G2A		G3	G4
3	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
	断 面 Fc=39						
	B × D	180x600	180x600	400x600		600x740	600x850
	上端筋	2-D13	2-D13	5-D25	3-D25	8-D35	9-D35
	下端筋	2-D13	2-D13	3-D25	3-D25	6-D35	7-D35
	スターラップ	▽-D10 @200	▽-D10 @200	□-D13 @200		▨-K13 @100	▨-K13 @100
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10	2-D10
2	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
	断 面 Fc=39						
	B × D	180x600	450x600	400x600		650x900	650x900
	上端筋	2-D13	3-D19	6-D25	3-D25	9-D35	10-D35
	下端筋	2-D13	3-D19	3-D25	3-D25	7-D35	7-D35
	スターラップ	▽-D10 @200	□-D13 @200	□-D13 @200		▨-K13 @100	▨-K13 @100
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		4-D10	4-D10

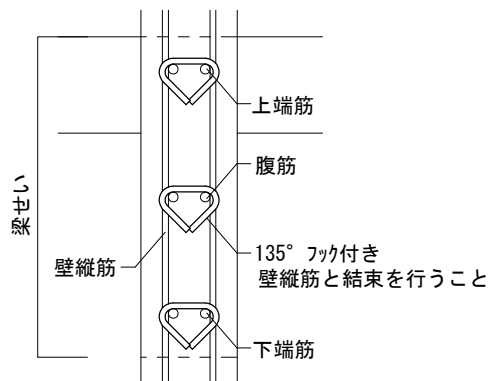
あばら筋配筋要領図

(一般部分)



帯筋形状は監理者と協議の上、
S-2図 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 4-3 あばら筋に
示された形状に変更可能とする。

G1, G1Aのスターラップ® 要領図



変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	大 梁 リ ス ト (1)					S-16 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号								
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	1/50 (A2) 1/71 (A3)					工事コード
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明		Date	23/06/19					582820
							申請図	一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓				

大梁リスト(2) 1/50

特記なき限り下記による。

1) 使用鉄筋 SD295 D10~D16、SD345 D19~D25

2) 2段受け筋, 巾止め筋は、D10@1,000とする。

3) K印は、高強度せん断補強筋KH785を示す。

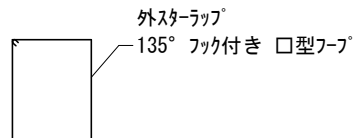
4) G3, G4の端部は定着板を採用する。(D29~D35)

5) ※印、RG1・1Aの最上部は、壁縦筋はスラブ内に定着する。

階	符 号	G1	G1A	G2、G2A		G3		G4	
R	位 置	全断面	全断面	両端	中央	両端	中央	両端	中央
	断 面 F _c =30								
	B × D	180x600	180x600	400x600		400x700		400x700	
	上端筋	2-D16	2-D16	5-D25	3-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
	下端筋	2-D16	2-D16	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25
	スターラップ	↕-D10 @200	↕-D10 @200	□-D13 @150		□-D13 @150		□-D13 @100	
	腹 筋	2-D16 (柱内定着)	2-D16 (柱内定着)	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10		2-D10	
9	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面		全断面	
	断 面 F _c =30								
	B × D	180x600	180x600	400x600		400x740		400x800	
	上端筋	2-D13	2-D13	5-D25	3-D25	4-D29		5-D29	
	下端筋	2-D13	2-D13	3-D25	3-D25	3-D29		4-D29	
	スターラップ	↕-D10 @200	↕-D10 @200	□-D13 @200		□-K13 @200		□-K13 @200	
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10		2-D10	
8	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面		全断面	
	断 面 F _c =30								
	B × D	180x600	180x600	400x600		450x740		450x800	
	上端筋	2-D13	2-D13	5-D25	3-D25	5-D29		6-D29	
	下端筋	2-D13	2-D13	3-D25	3-D25	4-D29		5-D29	
	スターラップ	↕-D10 @200	↕-D10 @200	□-D13 @200		□-K13 @200		□-K13 @150	
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10		2-D10	
7	位 置	全断面	全断面	両端	中央	全断面		全断面	
	断 面 F _c =33								
	B × D	180x600	180x600	400x600		500x740		500x800	
	上端筋	2-D13	2-D13	5-D25	3-D25	6-D32		6-D32	
	下端筋	2-D13	2-D13	3-D25	3-D25	5-D32		5-D32	
	スターラップ	↕-D10 @200	↕-D10 @200	□-D13 @200		□-K13 @150		□-K13 @100	
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10 (2-D16/G2A)		2-D10		2-D10	

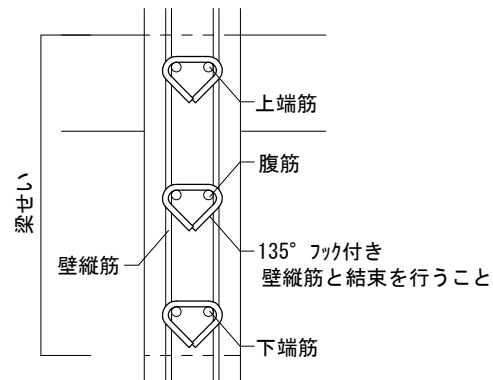
あばら筋配筋要領図

(一般部分)

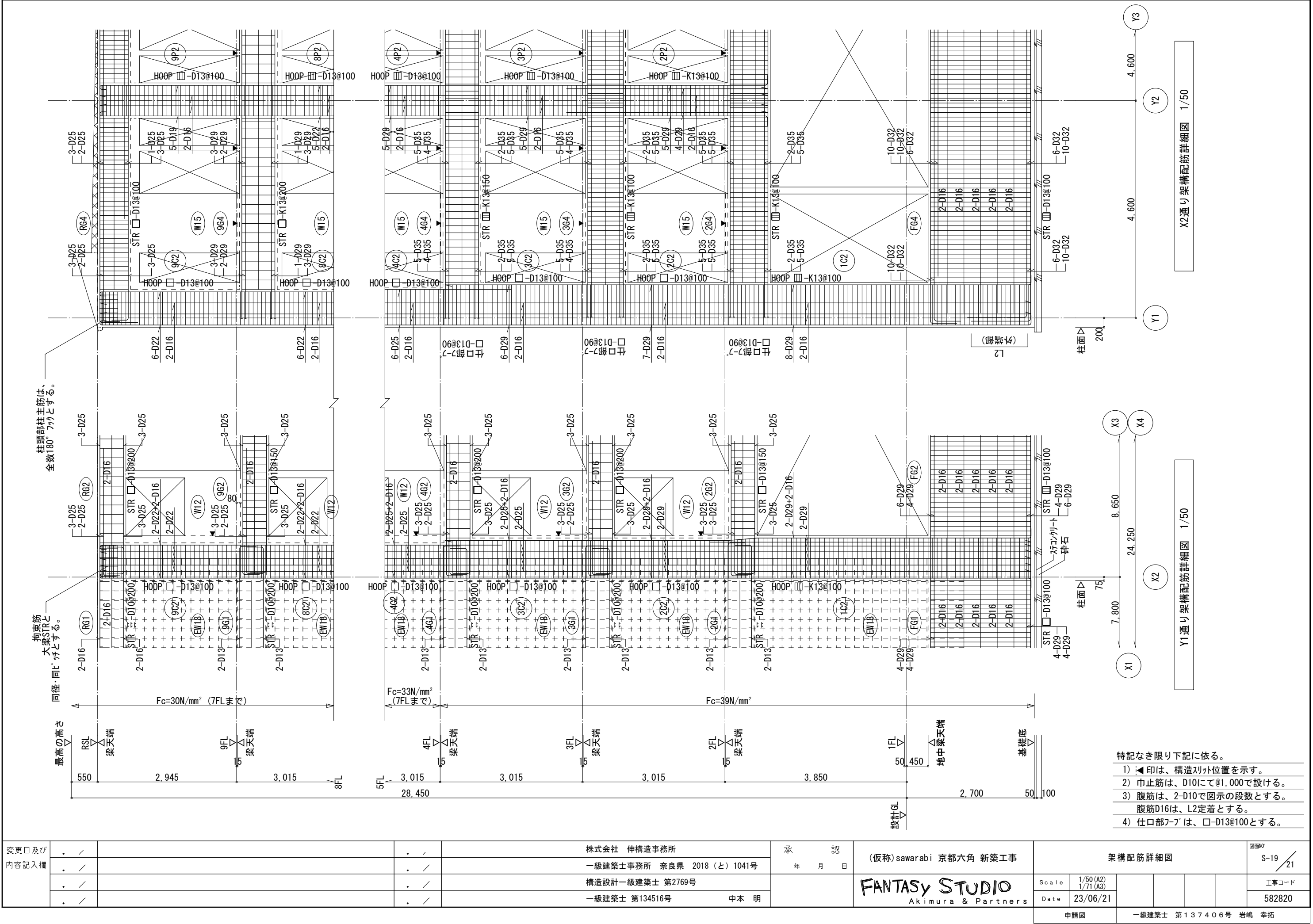


帯筋形状は監理者と協議の上、
S-2図 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 4-3 あばら筋に
示された形状に変更可能とする。

G1, G1Aのスターラップ® 要領図

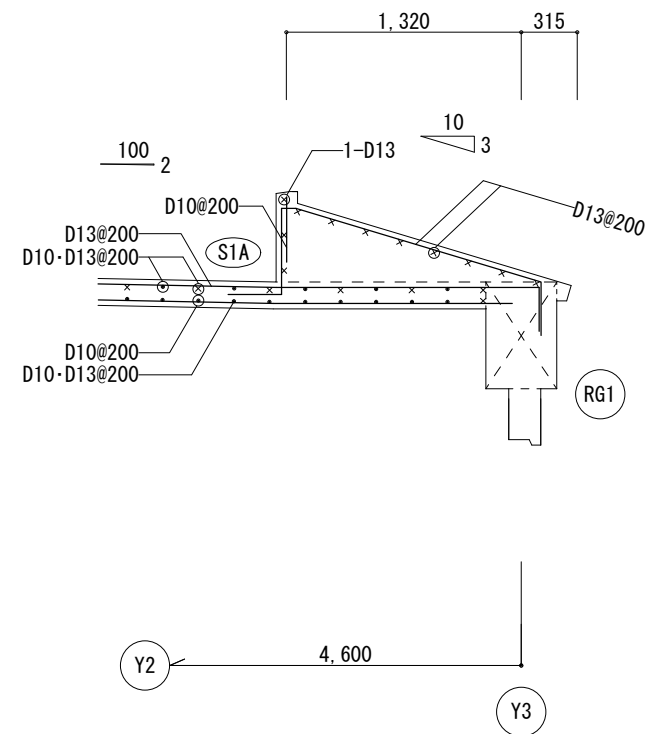
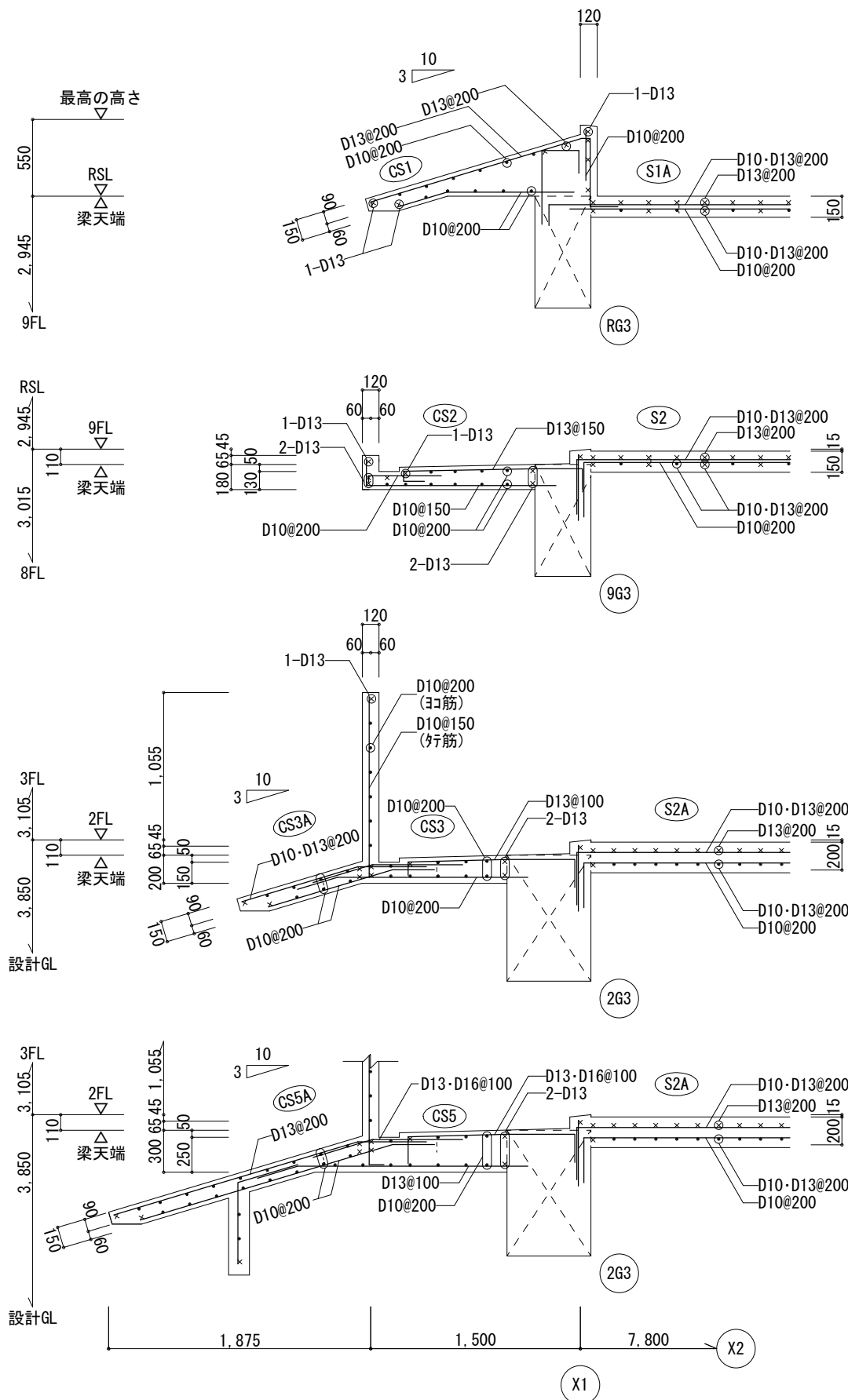


変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	大 梁 リ ス ト (2)						S-17 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号			Scale	1/50 (A2) 1/71 (A3)					
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Date		23/06/19					
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明									
							申請図	一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓					

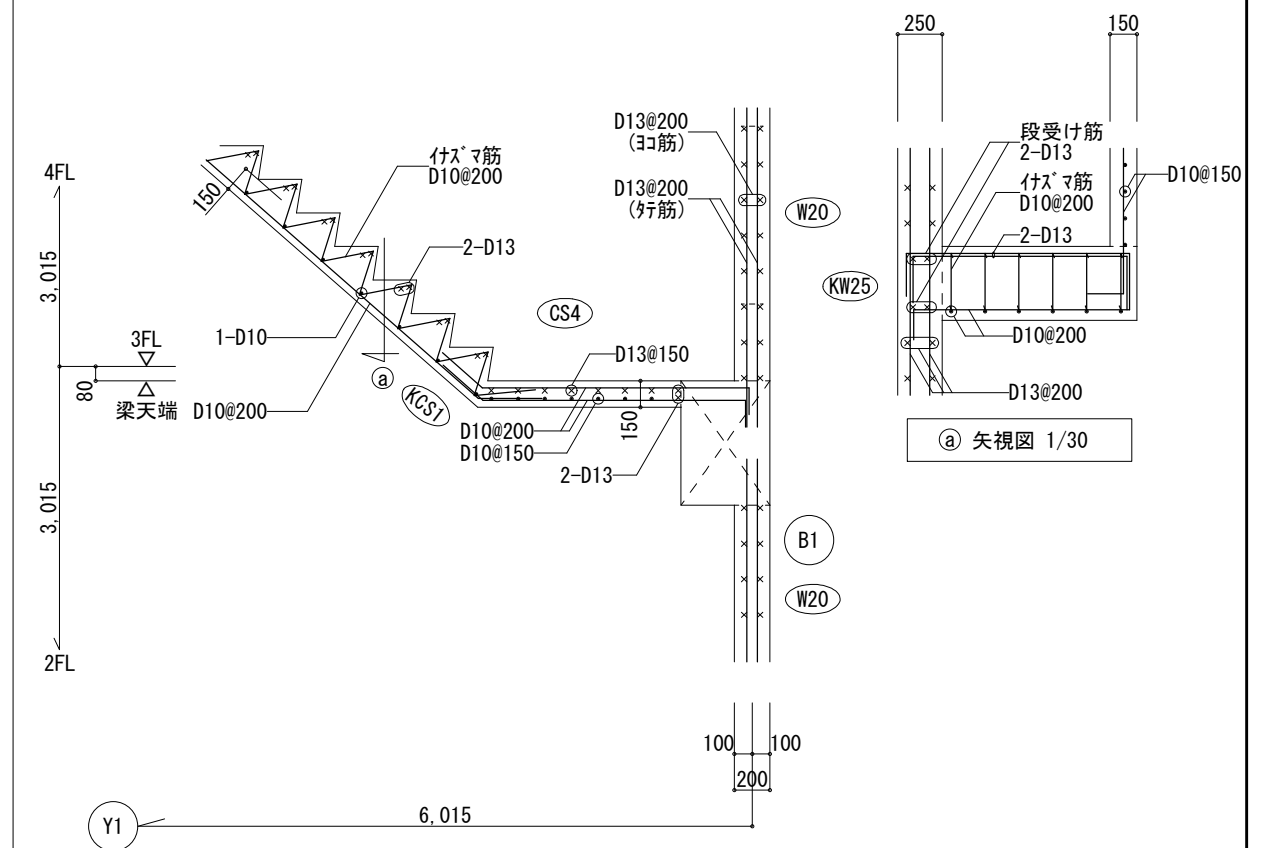


- 特記なき限り下記に依る。
- 1) ◀印は、構造スリット位置を示す。
 - 2) 巾止筋は、D10にて@1,000で設ける。
 - 3) 腹筋は、2-D10で図示の段数とする。
腹筋D16は、L2定着とする。
 - 4) 仕口部フープは、□-D13@100とする。

変更日及び 内容記入欄	・	／	株式会社 伸構造事務所 一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号 構造設計一級建築士 第2769号 一級建築士 第134516号 中本 明	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事 FANTASY STUDIO Akimura & Partners	架 構 配 筋 詳 細 図					図面 S-19 21
	・	／				Scale	1/50 (A2) 1/71 (A3)				
	・	／				Date	23/06/21				
	・	／				申請図	一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓				



屋外階段配筋詳細図 1/30



階		D1	D2	H
R	避雷針基礎	500	500	500
	消火用補給水槽基礎	1,000	1,000	***
	アンテナ基礎	750	750	***

変更日及び 内容記入欄	・ /		・ /	株式会社 伸構造事務所	承認 年 月 日	(仮称)sawarabi 京都六角 新築工事	雑詳細図(1)						図面NO S-20 / 21
	・ /		・ /	一級建築士事務所 奈良県 2018 (と) 1041号			FANTASY STUDIO Akimura & Partners	Scale	1/30 (A2) 1/42 (A3)				
	・ /		・ /	構造設計一級建築士 第2769号	Date	23/06/19						582820	
	・ /		・ /	一級建築士 第134516号 中本 明									
						申請図		一級建築士 第137406号 岩嶋 幸拓					

